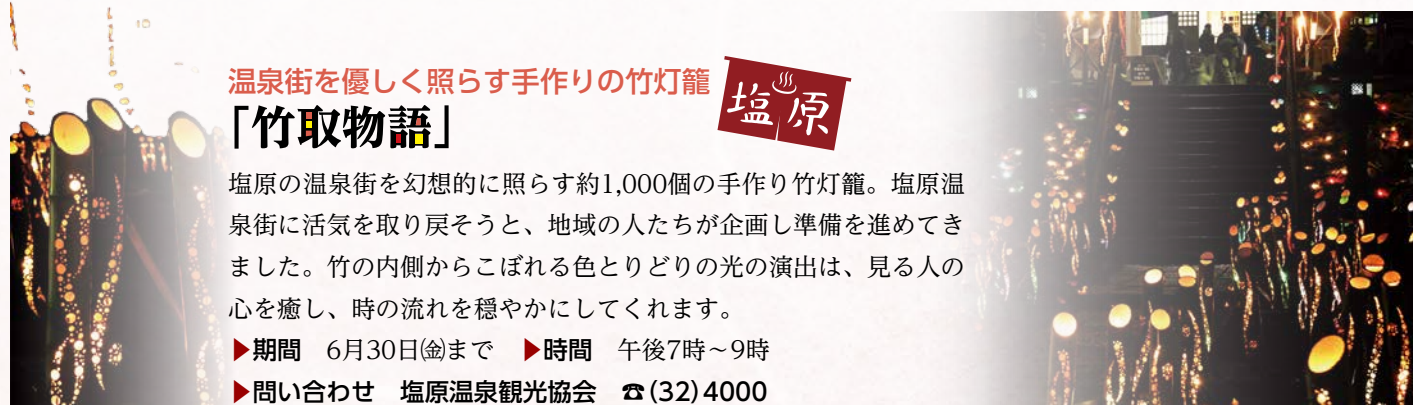




温泉街からのおもてなしイベント

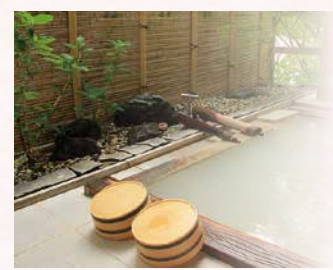
まちの魅力に磨きをかけたおもてなし。期間中にさまざまなイベントが催される。この地域に住んでいても、意外と知らない“まちの魅力”を探しに行ってみては—



温泉街を優しく照らす手作りの竹灯笼 「竹取物語」

塩原の温泉街を幻想的に照らす約1,000個の手作り竹灯笼。塩原温泉街に活気を取り戻そうと、地域の人たちが企画し準備を進めてきました。竹の内側からこぼれる色とりどりの光の演出は、見る人の心を癒し、時の流れを穏やかにしてくれます。

- ▶期間 6月30日(金)まで ▶時間 午後7時～9時
- ▶問い合わせ 塩原温泉観光協会 ☎(32)4000



温泉ふるまい 日帰り温泉入浴無料サービス

6種類7色という多種多様な温泉を誇る塩原温泉。毎月風呂(26)の日に対象旅館の温泉を無料でふるまいます。この機会に、あなたの身体に最も合う温泉を探してみたいはいかがでしょうか。

- ▶とき 4～6月の各26日 ※詳細は観光局ホームページを確認してください。
- ▶問い合わせ 塩原温泉観光協会 ☎(32)4000



塩原 まちめぐりツアー 散策しながら魅力を再発見

塩原温泉街の中心部をガイドの案内でのんびりと散策。普段は見過ごしてしまう何気ないものの中に刻まれた物語を探しにいきませんか。

- ▶期間 11月30日(木)まで ▶出発時間 午前9時～午後2時(所要2時間)
- ▶料金 大人500円、小中学生300円(予約制)
- ▶問い合わせ 塩原温泉観光協会 ☎(32)4000



板室 三大祈願 祈願所のご利益を温泉で

板室温泉の三大祈願所で祈願されたお札を、板室温泉の宿泊施設内の湯口にお供えし、各祈願所のご利益を得ようとするもの。期間中は、子宝祈願にご利益があるとされる木の俣地蔵のお札が備え付けられます。

- ▶期間 6月30日(金)まで

1月～3月まで湯口にお供えした全てのお札をお焚き上げします。

その後、板室温泉・大黒屋にて餅つきを開催します。

- ▶とき 4月23日(日)午前11時～
- ▶ところ 板室温泉地内那珂川河川敷
- ▶問い合わせ 黒磯観光協会 ☎(62)7155



星空観察会 満天の星を探しに



山の稜線に太陽が沈むと訪れる板室温泉の静寂。茜色から濃紺へと移る空に、星々が輝き始めます。天文ガイドの解説を聞きながら、特別な時間を過ごしませんか。

- ▶開催期間 4～6月の毎週土曜 午後8時～9時
- ▶料金 無料
- ▶問い合わせ 板室自然遊学センター ☎(69)0231



若色潤氏 市観光局戦略会議 いちごとみるくフェア担当
まちの名物にできれば最高ですね。

昨日、家族や恋人同士の旅行では、女性が旅先を決める傾向があります。また、その土地の「美味しいもの」は、その際に考慮されることが多いアイテム。女性が飛びつく「おいしいもの」といえば、やはりスイーツではないでしょうか。
本市が誇る生乳生産本州一の「牛乳」と、栃木が誇る収穫量48年連続日本一の「いちご」を組み合わせれば、ここだけのオリジナルスイーツができます。さらに、旅館やホテルだけでなく、飲食店も加わることで、地域の回遊性が生まれます。いちごと牛乳の組み合わせは、洋菓子のイメージが強いですが、ぜんざいのような和テイストにしても美味しい。素材で地域の一体感を保ちながら、多様なスイーツの提供が可能なので、何回でも楽しめたい。この取り組みを一過性のものにせず、時間を積み重ねて、将来的にまちの名物にできれば最高ですね。



—地元の食材を使って まちの新しい名物にできれば—



キャンペーンでの誘客の取り組み

“このまちの魅力は何だろうか”
あらためて探求し、辿り着いた「食」という答え。
数年前から進めてきた準備が、ついに形になる。



—印象に残る朝食で また来たいと思ってもらいたい—

旅館での一泊を音楽に例えると、お着きのおもてなしが最初の盛り上がり。その後、温泉と夕食で演奏はピークを迎え、最後の盛り上がり「朝食」で幕を閉じる。最後の音が響いたのちに、耳元にかすかに良い余韻を残すことができれば、きっとその演奏は成功だと言えるでしょう。旅館を出た後に余韻を残し「また来たい」と思ってもらうため、朝食で日本一を目指そうと取り組んでいます。
だからと言って、朝食を全てリニューアルするのではなく、提供している朝食をあらためて見直すことが重要だと考えます。既にこだわりを持って出しているものは、それを伝えられるようにする。また、これまで既製品を出していた料理があれば、地元食材を使用して自家製に変えるだけでも十分に価値が高まります。今回のプロジェクトを契機に、地域全体で食のレベルアップを図り、取り組みを継続していくことが重要です。

ただただか 山口 忠孝氏 市観光局戦略会議 朝食イッピン物語 担当

